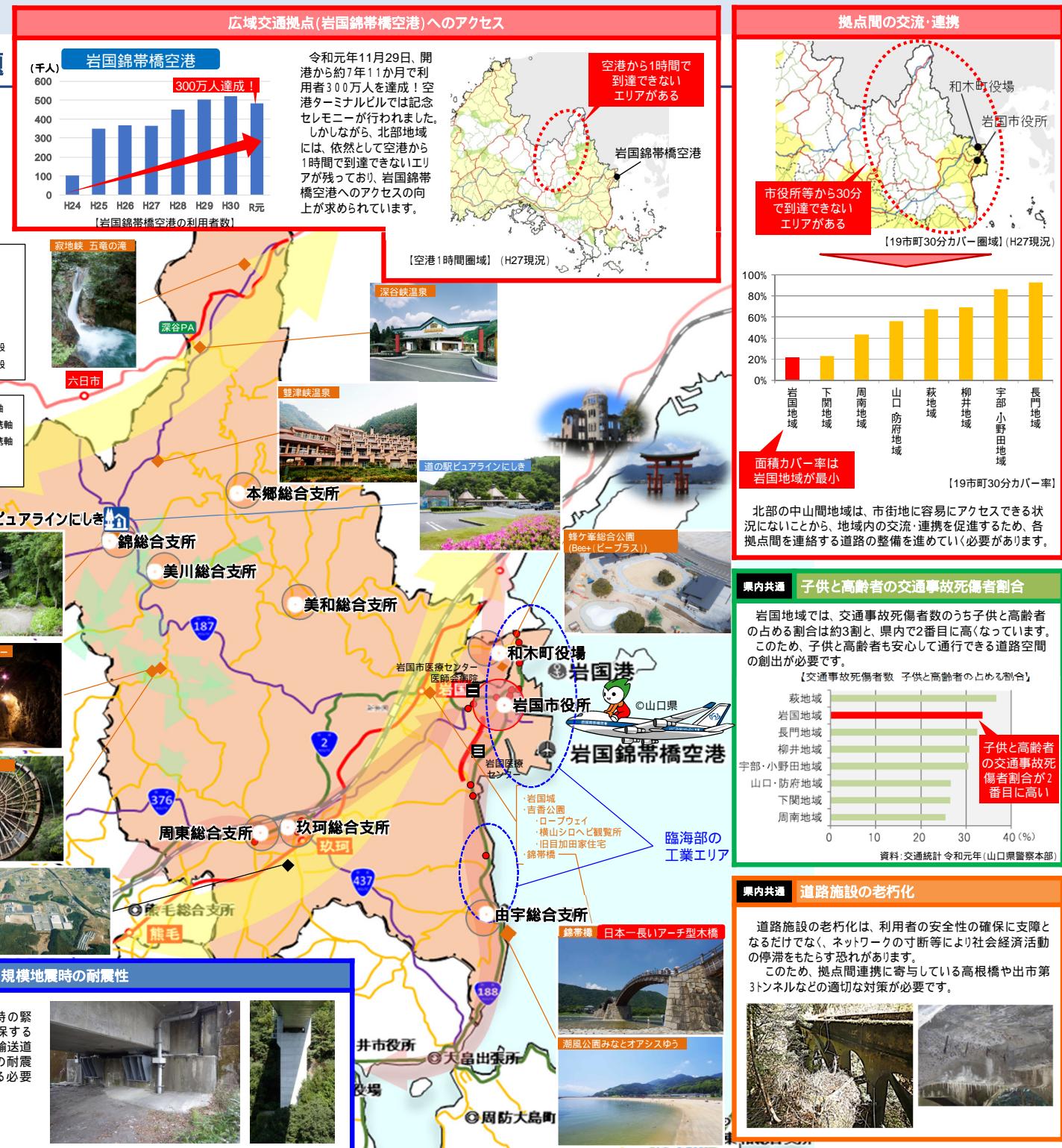
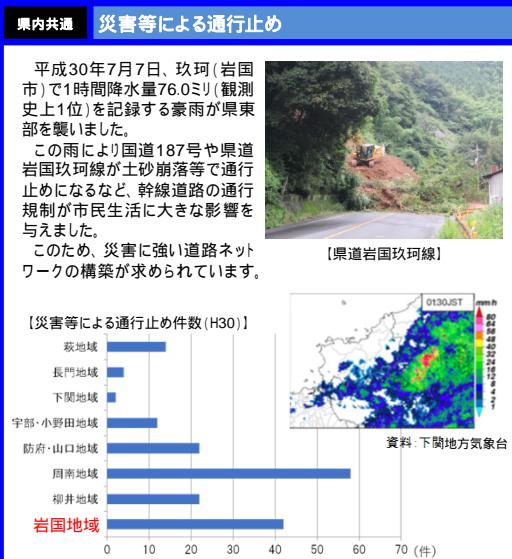


## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域のみちづくりに関する現状と課題

- ・観光地や広域交通拠点(岩国錦帯橋空港等)へのアクセス強化による観光客の利便性の向上
- ・都市間や拠点間の道路整備による交流・連携の強化
- ・バイパス整備等による渋滞対策の推進
- ・歩道の整備等による交通安全対策の推進
- ・災害時等にも機能する広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- ・緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強
- ・トンネルをはじめとした道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域のみちづくり

#### 整備が求められる主な路線

##### 産業・地域を「支える」

- 観光客の利便性の向上
  - 交流・連携の強化
  - バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進
- |     |               |
|-----|---------------|
| 1-a | 県道岩国錦線        |
| 1-b | (仮)玖西地区外郭環状道路 |
- 等

##### 人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進
  - 救急医療施設への搬送時間の短縮
- |     |         |
|-----|---------|
| 1-c | 国道187号  |
| 1-d | 県道柳井周東線 |
- 等

##### 災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
  - 防災・減災対策の推進
  - 橋梁の耐震補強
- |     |         |
|-----|---------|
| 1-e | 県道周東美川線 |
|     | 国道434号  |
- 等

##### 未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等
  - 日常的な維持管理の充実・効率化
  - 異常気象時等の対応
- |        |
|--------|
| 国道187号 |
| 国道434号 |
- 等

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- SIC スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



#### 主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支 え る	守 る	備 え る	つ な ぐ
1-1	国道2号 (岩国・大竹道路)	バイパス	事業継続				
1-2	国道188号 (藤生長野バイパス)	バイパス	事業継続				
1-3	国道434号 (須川バイパス)	バイパス	完成 (R6)				
1-4	県道岩国大竹線 (関ヶ浜～小瀬)	現道拡幅	事業継続				
1-5	県道岩国玖珂線 (欽明路～柳井田上)	バイパス	事業継続				
1-6	県道岩国美和線 (阿品)	現道拡幅	事業継続				
1-7	県道徳山本郷線 (尾崎)	バイパス	事業継続				
1-8	県道岩国錦帯橋空港線 (旭町)	現道拡幅	完成 (R6)				
1-9	県道通津周東線 (瀬田下～上久原)	現道拡幅	事業継続				
1-10	県道北中山岩国線 (山口)	現道拡幅	完成 (R7)				
1-11	県道峰ヶ嶺公園線 (瀬田～和木)	バイパス	事業継続				
1-12	県道久杉高水停車場線 (差川)	バイパス	事業継続				
1-13	県道錢壹山公園線 (有家)	現道拡幅	部分完成 (R7)				
1-14	国道187号 (荒瀬)	歩道整備	事業継続				
1-15	県道北中山岩国線 (瀬田)	歩道整備	事業継続				
1-16	国道187号 (杭名～大野)	のり面対策	事業継続				
1-17	県道岩国佐伯線 (長浴大橋)	耐震化	事業継続				
1-18	国道434号 (広瀬新橋)	耐震化	事業継続				
1-19	国道187号 (出市第1～3丁目)	長寿命化	事業継続				
1-20	県道岩国大竹線 (御庄大橋)	長寿命化	事業継続				
1-21	県道藤生停車場線 (臥龍橋)	長寿命化	事業継続				
1-22	県道岩国佐伯線 (亀尾川)	バイパス	事業継続				
1-23	県道上久原藤生停車場線 (黒磯)	バイパス	事業継続				
1-24	国道434号 (宇佐)	現道拡幅	事業継続				
1-25	県道柳井周東線 (用田)	歩道整備	事業継続				

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したもので。

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

#### 1-1 国道2号(岩国・大竹道路)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 9.8 km
幅 員	W = 19.0 ~ 20.5 m
着 手 年 度	平成13年度

[標準断面図]

総事業費約1,330億円(広島県側を含む)



##### 目的(効果)

- ◆ 岩国から大竹間における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国から大竹間における国道2号の交通事故の減少を図ります。
- ◆ 広島県との広域的な連携強化や交流促進を図ります。



#### 1-3 国道434号(須川バイパス)

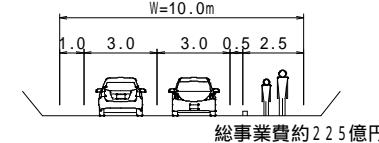
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 11.3 km
幅 員	W = 10.0 m
着 手 年 度	昭和61年度

R6  
完成

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 広島県や島根県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



#### 1-2 国道188号(藤生長野バイパス)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

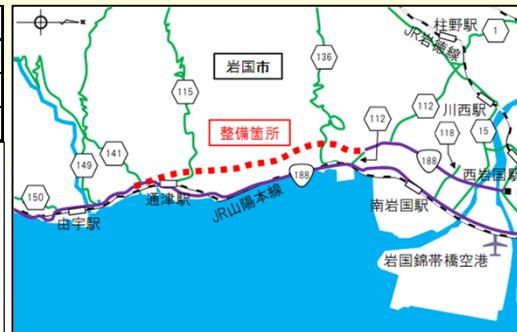
内 容	バイパス
延 長	L = 7.6 km
幅 員	W = 11.5 m
着 手 年 度	令和元年度

[標準断面図]

W=11.5m

3.5 0.75 3.25 3.25 0.75

総事業費約370億円



##### 目的(効果)

- ◆ 現道の渋滞緩和や交通事故の減少を図ります。
- ◆ 岩国ICや岩国港とのアクセスが向上し、物流の効率化を図ります。
- ◆ 災害時における代替路が確保され、信頼性の高いネットワークが形成されます。



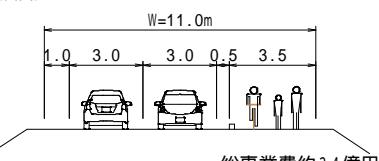
#### 1-4 県道岩国大竹線(関ヶ浜～小瀬)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.9 km
幅 員	W = 11.0 m
着 手 年 度	平成15年度

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 広島県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

#### 1-5 15 県道岩国玖珂線(欽明路～柳井田上)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 3.2 km
幅 員	W = 11.0 m
着 手 年 度	平成12年度

[標準断面図]

総事業費約72億円



##### 目的(効果)

- ◆ 玖珂市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道玖珂ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧玖珂町と岩国市街地との連携強化を図ります。



#### 1-7 69 県道徳山本郷線(尾崎)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.7 km
幅 員	W = 7.5 m

[標準断面図]

総事業費約25億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道187号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



#### 1-6 111 県道岩国美和線(阿品)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 1.9 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成27年度

[標準断面図]

総事業費約65億円



##### 目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道2号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



#### 1-8 110 県道岩国錦帯橋空港線(旭町)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.4 km
幅 員	W = 21.0 m
着 手 年 度	平成24年度

R6 完成

[標準断面図]

総事業費約10億円



##### 目的(効果)

- ◆ 空港入口交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国錦帯橋空港へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

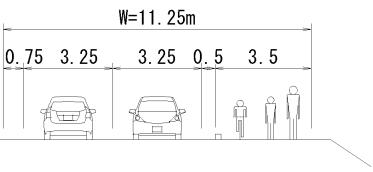
#### 1-9 115 県道通津周東線(瀬田下~上久原)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.5 km
幅 員	W = 11.25 m
着 手 年 度	平成12年度

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭い箇所を解消します。
- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 玖珂ICへのアクセス性を向上します。



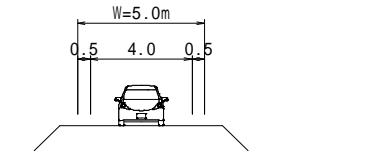
#### 1-10 135 県道北中山岩国線(田ノ口)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 1.0 km
幅 員	W = 5.0 m
着 手 年 度	平成27年度

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。



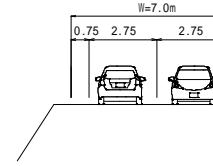
#### 1-11 125 県道蜂ヶ峯公園線(瀬田~和木)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 1.6 km
幅 員	W = 7.0 m

[標準断面図]



総事業費約30億円



##### 目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所や急な勾配を緩和します。
- ◆ 蜂ヶ峯総合公園へのアクセス性を向上します。



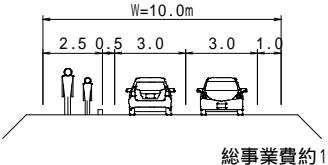
#### 1-12 142 県道久杉高水停車場線(差川)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 1.2 km
幅 員	W = 10.0 m
着 手 年 度	平成10年度

[標準断面図]



総事業費約12億円



##### 目的(効果)

- ◆ 高さ制限箇所の回避により、大型車の通行を可能にします。
- ◆ JR岩徳線米川駅へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



部分完成区間

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

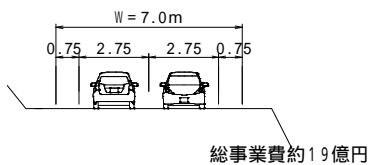
#### 1-13 150 県道銭壺山公園線(有家)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 2.8 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成15年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山口県ふれあいパーク(山口県由宇青少年自然の家)へのアクセス性を向上します。



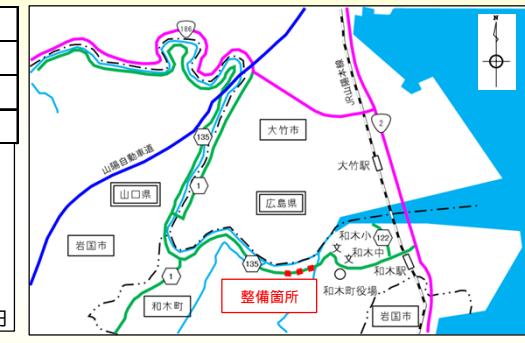
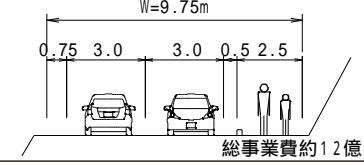
#### 1-15 135 県道北中山岩国線(瀬田)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.56 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	令和3年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



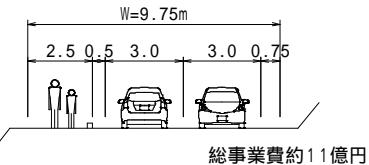
#### 1-14 187 国道187号(荒瀬)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.8 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	平成25年

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



#### 1-16 187 国道187号(杭名～大野)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	のり面対策
延 長	L = 1.7 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成28年

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

#### 1-17 111 県道岩国佐伯線(長治大橋)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	耐震化
延 長	L = 0 . 2 km
幅 員	W = 8 . 0 m
着 手 年 度	令和元年度

[標準断面図] W=8.0m  
1.5 0.5 2.75 2.75 0.5

総事業費約6億円



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



#### 1-18 434 国道434号(広瀬新橋)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	耐震化
延 長	L = 1 . 0 km
幅 員	W = 9 . 0 m
着 手 年 度	平成29年度

[標準断面図] W=9.0m  
2.0 0.5 3.0 3.0 0.5



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



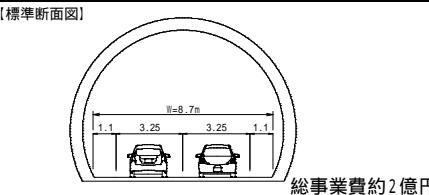
#### 1-19 187 国道187号(出市第1~3トンネル)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0 . 3 km
幅 員	W = 8 . 7 m

着 手 年 度 平成28年度



##### 目的(効果)

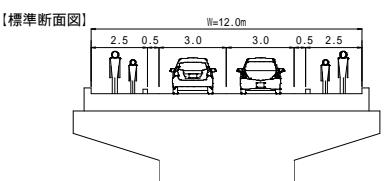
- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

#### 1-20 1 県道岩国大竹線(御庄大橋)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0 . 2 km
幅 員	W = 12 . 0 m
着 手 年 度	平成26年度



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 1 岩国地域の主要な整備箇所

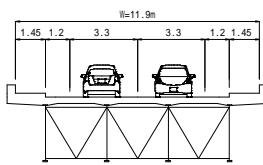
#### 1-21 112 県道藤生停車場錦帯橋線(臥龍橋) 山口

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.20 \text{ km}$
幅 員	$W = 11.9 \text{ m}$
着 手 年 度	令和元年度

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



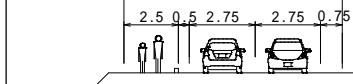
#### 1-23 136 県道上久原藤生停車場線(黒磯) 山口

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 1.1 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.25 \text{ m}$
着 手 年 度	令和4年度

[標準断面図]



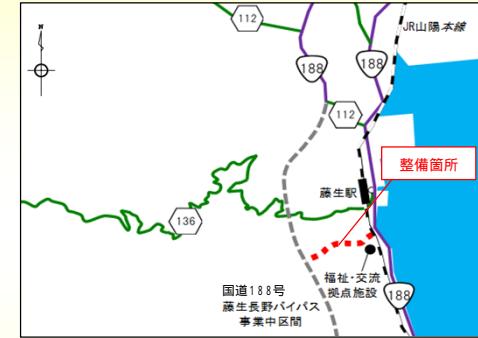
[関連事業(岩国市事業)]

市道通津134号線 バイパス  $L=0.23 \text{ km}$   
総事業費: 約 2.1 億円 R4 - R12

市道保津町3号線 バイパス  $L=1.84 \text{ km}$

総事業費: 約 0.7 億円 R3 - R12

総事業費約 10 億円



##### 目的(効果)

- ◆ 藤生長野バイパスへのアクセス道路として機能するとともに、福祉・交流拠点へのアクセス強化を図ります。
- ◆ 国道188号が越波や交通事故等で通行止めとなった際にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。

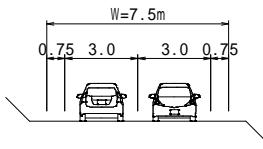
#### 1-22 2 県道岩国佐伯線(亀尾川) 山口

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 1.2 \text{ km}$
幅 員	$W = 7.5 \text{ m}$
着 手 年 度	令和4年度

[標準断面図]



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や急なカーブで見通しが悪い箇所を解消し、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 地域住民の生活の利便性向上及び産業の振興を図ります。



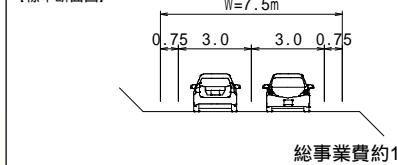
#### 1-24 434 国道434号(宇佐) ROUTE

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 7.5 \text{ m}$
着 手 年 度	令和5年度

[標準断面図]



総事業費約 10 億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 広島県と島根県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

## 2 主な整備箇所(地域版)

## 1 岩国地域の主な整備中箇所